

8B-2
no. 67

業務參考資料

寄宿舎勤務者調査

昭和48年8月

労働省婦人少年局年少労働課

は し が き

本調査は、事業所の寄宿舍に生活する勤労青少年に関する調査に際して、寄
宿舍勤務者の勤務の実情と意識を把握し、青少年指導の参考にするために付帯
的に実施したものである。

昭和48年8月

労働省婦人少年局年少労働課

寄宿舎勤務者調査について

1 目的等

寄宿舎に生活する青少年に対しては、施設の整備等のほか、適切な生活指導、相談、レクリエーション等を担当する者が必要とみられる。これらの福祉推進を行なう立場にあるとみられる寄宿舎勤務者の勤務の実情と意識を把握し、居住青少年の指導のための基礎資料とすることを目的とする。

本調査は、「寄宿舎に生活する勤労青少年に関する調査」の付帯調査として同時期に、主として実地自計により実施したものである。

2 調査対象者

- (1) 寄宿舎専任勤務者のうち、寄宿舎管理責任者（寮長・管理人等）および生活指導の世話等を担当する者（寮母等）を原則的に対象者とした。寄宿舎の選定は、1事業所につき1寄宿舎としたが、男子寮、女子寮を併置している場合には各寮につき1を選定した。以上により1寄宿舎について寮長・管理人等1、寮母等1を対象とした。
- (2) 中・小規模事業所などで、専任の寮長・管理人等または寮母等がおかれていない場合には、事業所の他の業務を行ないながら寄宿舎管理等を行なう兼任者、あるいは寄宿舎専任勤務の賄・雑役者を対象とした。
- (3) 寄宿舎の自治組織の役員であって、寄宿舎に勤務する者については、事業所から若干の手当が出ている場合であっても調査対象から除外した。

目 次

寄宿舍勤務者の勤務状況と意識	1
(1) 寄宿舍勤務者の概況	1
1) 調査対象者の構成	1
2) 寄宿舍勤務者の概況	2
3) 勤務の状況	11
(2) 寄宿舍勤務者の職務等	24
1) 職務の内容	24
2) 居住青少年の同室者の選定方法	27
3) 居住青少年の部屋替え	27
4) 職務をとおしてみた居住青少年	27
(3) 寄宿舍勤務者の意識	29
1) 職務研修の希望	29
2) 生きがい	32
3) 待遇に関する意識	35

参 考 調 査 票

1 寄宿舍勤務者の勤務状況と意識

(1) 寄宿舍勤務者の概況

1) 調査対象者の構成

調査対象となった寄宿舍勤務者の構成は第1表のとおりである。寄宿舍規模別にみると、15～49人が多く37.5%、つきが1～14人で29.2%、50人以上33.3%である。職名についてみると、寮長・管理人等が最も多く34.1%、ついで寮母等23.7%、賄・雑役等は最も少なく11.7%となっている。「その他」が30.5%であるが、これは調査対象となった寄宿舍のなかで、とくに小規模な寄宿舍においては専任の勤務者をおかさないで、事業所に勤務する者で他の業務を行ないながら寄宿舍の管理等を担当しているところがかかなりあり、これらが多く含まれている。

勤務者の性別はほぼ男女同じ割合となっている（男子49.5%、女子50.5%）（第1表）。

第1表 調査対象寄宿舍勤務者の構成

注 「職名」による分類は次のとおりとした。

1. 寮長・管理人等……寮長、管理人、舎監、寮監またはこれに準ずる職名
2. 寮母等……寮母またはこれに準ずる職名
3. 賄・雑役等……賄、雑役またはこれに準ずる職名
4. その他……寄宿舍勤務者としての職名が付されていないもの
(以下「職名」の注略)

区 分		有効回収数	構 成 比
総 数		人 384	％ 100.0
寄 宿 舎 規 模	150人以上	66	17.2
	50～149人	62	16.1
	15～49人	144	37.5
	1～14人	112	29.2
職 名	寮長・管理人等	131	34.1
	寮 母 等	91	23.7
	賄・雑 役 等	45	11.7
	そ の 他	117	30.5
性	男	190	49.5
	女	194	50.5

2) 寄宿舍勤務者の概況

一性、年齢、学歴一

性別に勤務者の職名をみると、寮長・管理人等は男子が多く（男子71%、女子29%）、寮母等は女子が圧倒的に多い（男子2.2%、女子97.8%）。賄・雑役等も女子の占める割合が多く91.1%である（第2表）。

第2表 寄宿舍勤務者の職名および性別構成

（単位%）

区 分		構 成 比	
総 数	総 数	(1 0 0.0)	1 0 0.0
	男		4 9.5
	女		5 0.5
寮 管 長 理 ・ 人 等	小 計	(3 4.1)	1 0 0.0
	男		7 1.0
	女		2 9.0
寮 母 等	小 計	(2 3.7)	1 0 0.0
	男		2.2
	女		9 7.8
賄・ 雑 役 等	小 計	(1 1.7)	1 0 0.0
	男		8.9
	女		9 1.1
そ の 他	小 計	(3 0.5)	1 0 0.0
	男		7 7.8
	女		2 2.2

第3表 寄宿舎勤務者の年令、学歴別構成

(単位%)

区 分	総 数	職 名				性 別	
		寮長・管理人等	寮 母 等	膳・雑役等	そ の 他	男	女
総 数	1 0 0.0	1 0 0.0	1 0 0.0	1 0 0.0	1 0 0.0	1 0 0.0	1 0 0.0
年 令	3 5 才未満	9.2	1 2.1	1 7.8	2 5.6	1 5.3	1 6.5
	3 5 ~ 4 4 才	1 6.0	1 9.8	2 2.2	2 9.1	2 0.5	2 2.7
	4 5 ~ 5 4 才	2 9.0	4 9.4	2 4.4	2 5.6	2 8.4	3 6.1
	5 5 才以上	4 5.0	1 7.6	3 5.6	1 8.0	3 4.7	2 3.7
	不 明	0.8	1.1		1.7	1.1	1.0
学 歴 (註)	中 学 卒	4 6.6	4 0.7	7 3.3	2 7.3	3 3.7	5 1.0
	高 校 卒	3 9.7	4 9.4	2 4.5	4 1.9	4 0.5	4 1.3
	短大卒以上	1 3.7	9.9	2.2	3 0.8	2 5.8	7.7

- 註 1 中 学 卒 旧小学・高小、新中卒
 2 高 校 卒 旧中・高女、新高卒
 3 短大卒以上 旧高专・大学、短大・大学卒

寄宿舍勤務者を年令別にみると、中高年令層が圧倒的に多く（35才以上83.1%）、45才以上の者が61.5%を占めていることが注目される。職名別にみると高令者（55才以上）は寮長・管理人等に最も多く（45.0%）、ついで賄・雑役等（35.6%）、寮母等（17.6%）の順になっている。性別では、男子のほうが女子よりも高年令者の占める割合が少し多い。

つぎに学歴をみると、中学卒（42.4%）が多く高校卒（40.9%）がこれに続いており、短大卒以上が16.7%である。職名別にみると、学歴の高い者は寮長・管理人等に多く13.7%で寮母等9.9%、賄・雑役等2.2%となっている。高校卒は寮母等が最も多く（49.4%）、寮長・管理人等（39.7%）、賄・雑役等（24.5%）の順になっている。中学卒が最も多いのは賄・雑役等で73.3%を占めているが寮長・管理人等（46.6%）、寮母等（40.7%）にも中卒者がかなりいる。性別には男子に学歴の高い者が多く、短大卒以上は男子25.8%に対し、女子7.7%、一方学歴の低い者は女子に多く中学卒は男子33.7%に対し女子51%である（第3表）。

第4表 寄宿舍勤務者の地位

（単位%）

寄宿舍規模	総数	社員	病託	臨時従業員	パートタイマー	その他	不明
総数	100.0	64.6	23.2	4.9	1.0	5.5	0.8
150人以上	100.0	53.0	36.4	3.0		4.6	3.0
50～149人	100.0	54.8	32.3	6.5		4.8	1.6
15～49人	100.0	66.0	23.6	4.9		5.5	
1～14人	100.0	75.0	9.8	5.4	3.6	6.2	

第5表 寄宿舍勤務者の地位、職名、性別構成

地 位	総 数	職 名				性	
		寮長・ 管理人等	寮母等	賄・雑 役等	その他	男	女
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
社 員	64.6	48.8	58.2	64.4	87.2	71.6	57.7
嘱 託	23.2	39.7	28.6	17.8	2.5	21.6	24.7
臨時従業員	4.9	4.6	6.6	13.3	0.9	1.6	8.3
パートタイマー	1.0		1.1	4.5	0.9		2.1
そ の 他	5.5	6.1	5.5		6.8	4.2	6.7
不 明	0.8	0.8			1.7	1.0	0.5

一 地位等一

寄宿舍勤務者の事業所における地位をみると社員は64.6%であるが、嘱託が比較的によく(23.2%)、臨時従業員(4.9%)がかなりおり、パートタイマー(1%)も目につく。寄宿舍規模別にみると、規模が小さいところほど社員の割合が高く、規模の大きいところほど嘱託の割合の高い傾向がみられる(第4表)。

つぎに職名と地位の関係をみると社員の占める割合は、賄・雑役等(64.4%)に多く、寮母等が58.2%となっており、寮長・管理人等は48.8%で半数を下廻っている。嘱託は寮長・管理人等によく(39.7%)、寮母等がこれにつぎ(28.6%)、賄・雑役等は17.8%である。臨時従業員、パートタイマーは賄・雑役等によくみられる。

性別にみると、社員は男子に多く71.6% (女子57.7%)、嘱託・臨時従業員、パートタイマーは女子に多い(第5表)。

寄宿舍勤務者のなかで、寄宿舍の業務に専任しているものは65.1%である。職名ごとに専・兼任の状況をみると、専任者は寮母に多く96.7%、

賄・雑役等（9.1.1%）がこれにつき、寮長・管理人等は7.9.4%である。

事業所に勤務する者が他の業務を行ないながら寄宿舎の管理等を担当しているところがあることについては、「1 調査対象者の構成」の項で指摘したところであるが、この点については専・兼任状況に明確にみられ、第6表の「その他」の8.6.3%は兼任となっている（第6表）
— 現職年数、勤続年数 —

寄宿舎勤務者の現職についてからの年数は4年以上が多く5.2.6%でつぎが2年未満（2.6.0%）となっており、2年以上4年未満は1.9.8%である。職名別にみると、4年以上現職についている者は賄・雑役等が最も多く（6.6.7%）、寮母等と寮長・管理人等は相対的に現職年数の長い者の占める割合が少なく半数以下になっている。性別にみると大差はみられないが、男子のほうに少し現職年数の長いものが多い傾向がみられる。

第6表 寄宿舎勤務者の専・兼任状況

			(単位%)	
職	名	構	成	比
総 数	総	数	(100.0)	100.0
	専	任		65.1
	兼	任		34.9
寮管 長・ 人等	小	計	(34.1)	100.0
	専	任		79.4
	兼	任		20.6
寮 母 等	小	計	(23.7)	100.0
	専	任		96.7
	兼	任		3.3
賄雑 役・ 等	小	計	(11.7)	100.0
	専	任		91.1
	兼	任		8.9
そ の 他	小	計	(30.5)	100.0
	専	任		13.7
	兼	任		86.3

第7表 寄宿合勤務者の現職年数、勤続年数構成

(単位%)

区 分		総 数	職 名				性 別	
			寮長・ 管理人等	寮母等	庶 務 役 等	そ の 他		
総 数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	男	女
現 職 年 数	2年未満	26.0	30.5	29.7	20.0	20.5	24.2	27.8
	2～4年未満	19.8	23.7	19.8	13.5	17.9	21.6	18.0
	4年以上	52.6	43.5	48.5	66.7	60.7	53.1	52.1
	不 明	1.6	2.3	2.2		0.9	1.1	2.1
勤 続 年 数	5年未満	39.8	44.3	47.2	37.8	29.9	33.2	46.4
	5～10年未満	25.8	24.4	24.2	26.7	28.2	28.9	22.7
	10年以上	28.7	22.9	19.8	33.3	40.2	33.7	23.7
	不 明	5.7	8.4	8.8	2.2	1.7	4.2	7.2

第8表 寄宿舎勤務者の前職別構成

(単位%)

区 分	総 数	外 部 採 用						配 置 換 え						
		小 計	公務員	会社員	教員	教員以 外の専 門 職	無職	その他	不明	小 計	定年後 の 切換え	その他	不明	
総 数	(100.0)	(71.9) 100.0	7.6	33.0	4.0	4.0	24.6	2.64	0.4	(26.3) 100.0	4.0	6.93	2.67	(1.8)
年 令	40才未満	(5.8) 100.0			1.9	5.7	54.7	9.4	1.9	(38.9) 100.0		8.11	18.9	(5.3)
	40～54才	(71.1) 100.0	8.1	32.5	3.3	3.3	22.7	30.1		(28.3) 100.0		6.12	38.8	(0.6)
	55才以上	(86.6) 100.0	10.3	37.1	6.2	4.1	11.4	50.9		(13.4) 100.0	2.66	6.67	6.7	
性	男	(63.7) 100.0	11.6	49.6	4.9	5.8	8.3	19.0	0.8	(34.2) 100.0	4.6	6.92	2.62	(2.1)
	女	(79.9) 100.0	4.5	20.0	3.2	2.6	37.4	32.3		(18.6) 100.0	2.8	6.94	27.8	(1.5)
職 名	寮長・管理人等	(75.6) 100.0	9.1	45.5	7.1	4.0	14.1	20.2		(21.4) 100.0	10.7	7.14	17.9	(3.0)
	寮 母 等	(76.9) 100.0	5.7	17.1	4.3	2.9	31.4	38.6		(23.4) 100.0		7.62	23.8	
	膳・雑 役 等	(80.0) 100.0	2.8	19.4		2.8	44.4	30.6		(20.0) 100.0	11.1	6.67	22.2	
	そ の 他	(60.7) 100.0	9.9	38.0	1.4	5.6	22.6	21.1	1.4	(36.8) 100.0		6.51	34.9	(2.5)

寄宿舍勤務者の勤続年数の分布をみると、5年未満が最も多く39.3%、10年以上の者が28.7%、5～10年未満が25.8%である。職名別にみると寄宿舍の仕事は兼務であるものが多い。その他に勤続年数の長いものも多く（10年以上40.2%）、ついで賄・雑役等、寮長・管理人等、寮母等の順になっている。一方、勤続年数5年未満は、寮母等（47.2%）および寮長・管理人等（44.3%）に多く、つぎが賄・雑役等（37.8%）である（第7表）。

一 前 職 一

寄宿舍勤務者がこの仕事につく前は何かをしていたかをみると、外部から採用されたものが多く71.9%を占め、事業所内において配置換えされたものは28.3%である。外部から採用されたものについて前職をみると、会社員が多く33.0%で、つぎが無職（24.6%）となっている。公務員もかなりおり（7.6%）、教員（4.0%）、教員以外の専門職（4.0%）も目につく。事業所内において配置換えされたもののなかでは一般的な配置換えが多く、定年になって寄宿舍勤務者になったものは4%である。

外部から採用されたものについて年令別にみると、第8表に示すとおり40才未満は無職が多く、会社員、公務員、教員は55才以上のものが占める割合が高い。事業所内から配置換えされたものの年令別分布は定年後に寄宿舍勤務者になったものは55才以上に集中している。

性別にみると、外部から採用されたものでは男子は会社員、公務員、教員及び教員以外の専門職が比較的によく、無職は女子に多い。事業所内で配置換えになったもののなかで定年後に切換えになったものは男子に多い。

職名別では、寮長・管理人等は外部採用者では会社員、公務員、教員が相対的に多く、事業所内で配置換えされた者については一般的な配置換えが多いのはいうまでもないが、定年後の切換えによるものも相対的に多い。寮母等については女子が多いことから、会社員、公務員、教員など以外の「その他の職業」や、無職の人が外部から採用されており、一方、事業所内で配置換えされた者はすべて一般的な配置換えで、定年

後切換えとなった者は一人もいない（第8表）。

第9表 外部採用をした寄宿舍勤務者の
前職の職務別構成

(単位%)

区 分		総 数	管理職	その他	不 明
総 数		1 0 0.0	1 4.9	7 7.6	7.5
寄 宿 舎 規 模	1 5 0人以上	1 0 0.0		9 0.0	1 0.0
	5 0～1 4 9人	1 0 0.0	9.7	8 0.6	9.7
	1 5～ 4 9人	1 0 0.0	1 7.6	7 6.5	5.9
	1～ 1 4人	1 0 0.0	2 5.0	6 8.8	6.3
職 名	寮長・管理人等	1 0 0.0	1 2.3	7 8.5	9.2
	寮 母 等	1 0 0.0		9 5.2	4.8
	膳・雑 役 等	1 0 0.0		1 0 0.0	
	そ の 他	1 0 0.0	3 0.8	6 1.5	7.7

寄宿舍勤務者となる前に職業をもっていた者について、その職務を管理職とその他とに分けてみると、第9表に示すとおりで、管理職が14.9%である。寄宿舍規模別には規模の小さいところに「管理職」であった者の割合が高く（1～14人25.0%、15～49人17.6%、50～149人9.7%、150以上0%）なっている。職名別には管理職はその他に比べて多く（30.8%）、寮長・管理人等は12.3%であり、寮母等および膳・雑役等には「管理職」であった者は皆無である（第9表）。

第10表 寄宿舍勤務者の通勤、寄宿舍居住別構成

(単位%)

区 分		総 数	通 勤	寄宿舍居住	不 明
総 数		100.0	36.2	63.5	0.3
寄 宿 舎 規 模	150人以上	100.0	21.2	78.8	1.6
	50～149人	100.0	30.7	67.7	
	15～49人	100.0	38.2	61.8	
	1～14人	100.0	45.5	54.5	
専 兼 任 任 ・ 別	専 任	100.0	18.4	81.2	0.4
	兼 任	100.0	69.4	30.6	
職 名	寮長・管理人等	100.0	19.1	80.9	1.1
	寮 母 等	100.0	17.6	81.3	
	賄・雑 役 等	100.0	33.3	66.7	
	そ の 他	100.0	70.9	29.1	
性	男	100.0	48.9	51.1	0.5
	女	100.0	23.7	75.8	

3) 勤務の状況

— 通勤、寄宿舍居住の状況 —

本調査の対象となった寄宿舍勤務者の63.5%は寄宿舍に居住しているが、通勤者は36.2%である。寄宿舍規模別にみると、規模の大きいところほど寄宿舍に居住する者の割合が高く150人以上は78.8%であるが、規模の小さくなるほど少なくなり、1～14人では54.5%となっている。これを専任・兼任別にみると、専任のほうに寄宿舍に居住する者の割合が非常に高い（専任81.2%、兼任30.6%）。

職名別には寮母等および寮長・管理人等が寄宿舍に居住する者の割合が高く、賄・雑役がこれについている。(寮母等81.3%、寮長・管理人等80.9%、賄・雑役等66.7%) (第10表)。

第11表 寄宿舍に居住する寄宿舍勤務者の
居室数別構成

(単位%)

区 分		総 数	居 室			
			1 室	2 室	3 室	その他
総 数		100.0	40.6	45.9	11.5	2.0
専任・兼任別	専 任	100.0	40.9	46.8	9.8	2.5
	兼 任	100.0	39.0	41.5	19.5	
職 名	寮長・管理人等	100.0	30.2	50.9	17.9	1.0
	寮 母 等	100.0	52.7	35.1	6.8	5.4
	賄・雑 役 等	100.0	43.3	56.7		
	そ の 他	100.0	44.1	44.1	11.8	
性	男	100.0	25.8	54.6	18.6	1.0
	女	100.0	50.4	40.1	6.8	2.7

— 寄宿舍に居住する勤務者の住居等 —

寄宿舍に居住する寄宿舍勤務者の居室について部屋数をみると、2室に居住する者は、45.9%で、1室(40.6%)だけに居住する者を上廻り3室を使用する者も11.5%みられる。専任・兼任別に部屋数をみると兼任のほうに居住の条件のよい傾向が見られ、2室は専任46.8%に対し兼任は41.5%であり、3室は兼任19.5%に対し、専任9.8%となっている。職名別には2室以上に居住する割合の最も多いものは寮

長・管理人等で（68.8%）、ついで賄・雑役等（56.7%）、寮母等（41.9%）の順になっている。寮母等は同居の家族数が少ないものが多いから、1室に居住する割合が多く、寮長・管理人等は同居の家族数の多いものがあることから、2室以上に居住しているものが多くなっているわけで、この点は第13表の同居の家族の状況と関連があるといえる。性別には、2室以上に居住するものは男子に多く73.2%で、女子は半数を下廻り46.9%である（第11表）。

つぎに、居室の広さについてみると2室の場合は8帖以上が最も多く（43.0%）、1室では6帖以上が多く36.5%、3室の場合はすべて8帖以上である（第12表）。

第12表 寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者の
居室の広さ別構成

（単位%）

居 室		構 成 比
総 数		100.0
1 室	小 計	40.6
	6帖未満	4.1
	6帖以上	36.5
2 室	小 計	45.9
	8帖未満	2.9
	8帖以上	43.0
3 室	小 計	11.5
	8帖未満	
	8帖以上	11.5
不 明		2.0

第13表 寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者の同居の家族の状況

(単位%)

同居の家族	総数	性		職 名			
		男	女	寮長・管理人等	寮母等	賄・雑役等	その他
総数	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
小計	(70.9)	(89.7)	(58.5)	(88.7)	(51.4)	(66.7)	(61.8)
あ							
1人	47.4	50.6	44.2	52.1	57.9	35.0	28.6
2人	23.7	21.8	25.6	17.0	21.1	30.0	28.6
3人以上	28.9	27.6	30.2	30.9	21.1	35.0	42.9
なし	(28.7)	(10.5)	(40.8)	(11.3)	(47.3)	(33.3)	(38.2)
不明	(0.4)		(0.7)		(1.4)		

寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者には、同居の家族をもつ者が多く70.9%を占めている。同居の家族は1人という者が最も多く47.4%、3人以上28.9%、2人23.7%である。性別にみると男子はほとんど同居の家族をもっており(89.7%)、女子も過半数(58.5%)が家族と同居している。職名別には寮長・管理人等が同居の家族をもつ者の割合が高く(88.7%)、ついで賄・雑役等(66.7%)、その他(61.8%)、となっており、寮母等は最もその割合が少なく51.4%である(第13表)。

寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者の居室使用料、光熱水道料について支払い状況をみると、全く負担していないものが多く、居室使用料は83.6%、光熱水道料は83.7%が経費を支払っていない(第14表)。

第14表 寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者の
費用の支払い状況

(単位%)

支払い状況	居室使用料	光熱水道料
総 数	100.0	100.0
支 払 う	14.8	10.7
支払わない	83.6	87.3
不 明	1.6	2.0

給食支給のあるものは寄宿舎に居住する勤務者の87.3%で、このうち給食費を支払っているものは約6割である。職名別にみると給食費を支払っている者は、寮母等が最も多く62.7%で、つぎが寮長・管理人等の61.3%となっており、賄・雑役等がその割合が最も少なく46.4%である(第15表)。

第15表 寄宿舎に居住する寄宿舎勤務者の給食費の支払い状況

(単位%)

給食費	総数	寮長・管理人等	寮母等	賄・雑役等	その他
総数	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
給食あり	小計	(87.3) 100.0	(90.5) 100.0	(93.3) 100.0	(73.5) 100.0
	支払っている	62.4	62.7	46.4	84.0
	支払っていない	37.6	37.3	53.6	16.0
給食なし	(11.5)	(12.3)	(8.1)	(3.3)	(23.5)
不明	(1.2)		(1.4)	(3.3)	(2.9)

— 配偶者の稼働状況 —

寄宿舍勤務者の配偶者が、同じ事業所の寄宿舍で働いているかどうかをみると、26.0%が働いていると答えている。寄宿舍勤務者の通勤、寄宿舍居住別にみると、寄宿舍居住のほうにその割合が高く(38.5%)、通勤はわずかに4.3%である(第16表)。

第16表 寄宿舍勤務者の配偶者の稼働状況

(単位%)

配偶者の 稼働状況	総 数	通 勤	寄宿舍居住	不 明
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0
働 いて いる	26.0	4.3	38.5	
働いていない	72.9	93.5	61.1	100.0
不 明	1.1	2.2	0.4	

— 交替制・拘束時間 —

寄宿舍勤務者の交替制の状況をみると、ほとんど交替制はないが(92.2%)、ありという者も7.8%みられる。寄宿舍規模別には規模の小さいところほど交替制のないところが多く、1~14人では97.3%であるが、100人以上では78.8%となっている。

つぎに交替制のない者について拘束時間をみると、9時間までの者が40.7%、9時間をこえ12時間までの者9.6%で、12時間をこえる者が41.2%である(第17表)。

交替制のある勤務者の拘束時間は、9時間までの者が大半を占め(70.0%)、12時間をこえる者は10.0%となっている(第18表)。

第17表 寄宿舍勤務者の交替制勤務の状況

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	交替制 あ り	交 替 制 な し				
			拘 束 時 間				
			小 計	9時間 まで	9時間1分 ～12時間	12時間 1分以上	不 明
総 数	(100.0)	(7.8)	(92.2) 100.0	40.7	9.6	41.2	8.5
150人以上	(100.0)	(21.2)	(78.8) 100.0	36.5	5.8	57.7	
50～149人	(100.0)	(11.3)	(88.7) 100.0	45.5	3.6	36.4	14.5
15～49人	(100.0)	(4.2)	(95.8) 100.0	36.2	13.8	44.9	5.1
1～14人	(100.0)	(2.7)	(97.3) 100.0	45.9	9.2	31.2	13.7

注 拘束時間とは始業時刻から終業時刻までの時間で休憩時間を含めた延時間

第18表 “交替制あり” の寄宿舍
勤務者の拘束時間 (M. A.)

(単位%)

拘束時間	構 成 比
総 数	1 0 0.0
9 時間まで	7 0.0
9 時間 1 分 ～ 1 0 時間まで	1 3.3
1 0 時間 1 分 ～ 1 2 時間まで	1 3.3
1 2 時間 1 分以上	1 0.0

交替制のない者について、専任・兼任別に拘束時間をみると、専任者は一般に拘束時間が長く、12時間をこえるもの58.7%、9時間までのもの24.7%であるが、兼任者は相対的に拘束時間が短い。(9時間以上67.9%、12時間以上11.5%)。職名別には、寮長・管理人等および寮母等は拘束時間が長く、9時間までのものは寮母等30.3%、寮長・管理人等25%であるが、12時間をこえるものは寮長・管理人等64.2%、寮母等56.6%となっている。また、性別には女子のほうが男子より拘束時間の長い者が多く12時間をこえるものは48.6%に対し、男子34.2%である(第19表)。

第19表 “ 交替制なし ” の寄宿舍勤務者の拘束時間

(単位%)

区 分		総 数	交 替 制 な し			
			9時間 まで	9時間1分 ～12時間 まで	12時間 1分以上	不 明
総 数		(92.2) 100.0	40.7	9.6	41.2	8.5
専・兼任	専 任	(89.2) 100.0	24.7	9.0	58.7	7.6
	兼 任	(97.8) 100.0	67.9	10.7	11.5	9.9
職 名	寮長・管理人等	(91.6) 100.0	25.0	4.1	64.2	6.7
	寮 母 等	(83.5) 100.0	30.3	5.2	56.6	7.9
	賄・雑役等	(97.8) 100.0	25.0	27.3	34.1	13.6
	そ の 他	(97.4) 100.0	70.2	11.4	9.6	8.8
性	男	(95.3) 100.0	48.1	11.1	34.2	6.6
	女	(89.2) 100.0	32.9	8.1	48.6	10.4

一 賃 金 一

寄宿舍勤務者の調査時（昭和47年10月）の賃金を職名別に平均すると、寮長・管理人等は69,868円で比較的よくっており、寮母等がこれにつき48,542円、賄・雑役等は46,259円である。第20表に示すとおり、「その他」の賃金がいちじるしく高いのは「1勤務者の構成」で指摘したとおり、事業所の管理職などが兼任している寄宿舍がかなりあることによるとみられる。寮長・管理人等、寮母等について

企業規模別にみると、企業規模が大きいほうが賃金が高いといえる（第20表）。

第20表 寄宿舎勤務者の職名および企業規模別
(注)
平均賃金月額構成

職 名		企 業 規 模			
		総 数	1000人以上	100～999人	30～99人
平均賃金月額	総 数	71,652 円	71,200 円	69,250 円	76,803 円
	寮長・管理人等	69,868	77,111	65,008	66,994
	寮 母 等	48,542	53,128	46,964	43,301
	賄・雑 役 等	46,259	55,079	41,478	49,939
	そ の 他	101,781	98,598	102,218	102,092
人員構成比	総 数	100.0 %	25.8 %	49.5 %	24.7 %
	寮長・管理人等	100.0	38.9	46.6	14.5
	寮 母 等	100.0	36.3	50.6	13.2
	賄・雑 役 等	100.0	8.9	51.1	40.0
	そ の 他	100.0	9.4	51.3	39.3

(注) 昭和47年10月の税金等を差引かない前の賃金

寄宿舎勤務者の賃金分布状況をみると、50,000円未満が多く34.4%、つぎが50,000円～75,000円未満26.5%、第3位は75,000円～100,000円未満16.6%である。100,000円以上のものが比較的によく18.3%となっており、寄宿舎勤務者の賃金は上限と下限にかなりの開きがみられる。これは、寄宿舎勤務者の構成が複雑で、例えば管理職、専門職経験の寮長や寮管理者がいるが、無職であったものから寮母や賄・雑役などを採用するという実情が影響しているで

あろう。また、学歴、企業規模による賃金格差も考慮すべきであろう。さらに、勤務形態は一般の勤務と異なり、場合によっては長時間拘束されることがあることから、特殊勤務手当を支給している例もあり、これらの諸要因により賃金分布状況も幅広くなっているとみられるのである。専任・兼任別にみると兼任の給与は専任に比べ圧倒的によく、兼任の100,000円以上41%に対し、専任はわずかに6.0%にすぎない。また、賃金額の低いほど専任の占める割合が高く、50,000円未満が48.0%（兼任9.0%）、50,000円～75,000円未満31.2%（兼任17.9%）、75,000円～100,000円未満10.4%（兼任28.4%）、となつている。このように兼任に賃金の高いものが多いことは、この中に部課長級を含んでいる（30.6%）ことにもよるが、部課長級以外の者であつても比較的賃金の高い者が多いことによる。

性別では男子に賃金の高いものが多く、100,000円以上が最も多く35.8%であるが、女子は1%にすぎない。女子は50,000円以下が6割であるが、男子で50,000円以下は8.4%である。職名別に男女の賃金をみると、寮長・管理人等は男子は100,000円以上が35.8%に対し、女子は100,000円以上は皆無で、50,000円未満に集中しており71.1%となつている。女子の寮長・管理人等の賃金は、寮母等のそれよりも低いものが多く、50,000円以上のものは前者18.4%に対し、後者は39.3%である（第21表）。

(注1)

第21表 寄宿舎勤務者の賃金月額の分布

区 分		総 数	5万円未満	5万円以上 7.5万円未満	7.5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上	(単位：%)
専・ 務・ 任	総 数	100.0	34.4	26.5	16.6	14.1	4.2	不明
	専 任	100.0	48.0	31.2	10.4	4.8	1.2	4.4
職	兼 任 ²	100.0	9.0	17.9	28.4	31.3	9.7	3.7
	小 計	100.0	8.4	24.7	27.9	28.4	7.4	3.2
業	寮長・管理人等 ³	100.0	12.9	36.6	25.8	16.1	5.4	3.2
	そ の 他	100.0	3.3	14.3	28.6	41.7	9.9	2.2
女	小 計	100.0	59.8	28.4	5.7		1.0	5.1
	寮長・管理人等	100.0	71.1	15.8	2.6			10.5
	寮 母 等	100.0	57.3	34.8	4.5			3.4
	賄 ・ 雑 役 等	100.0	65.8	29.3	4.9			
	そ の 他	100.0	42.3	23.1	15.4		7.7	11.5

(注) 1 昭和47年10月の税金等を差引かない前の賃金

2 兼任を100多とすると、「部長長」30.6多、「その他」62.4多である。

3 男子の寮母等「賄・雑役等」の職名はサンプル数が少ないので省略したが、男子の小計には含まれている。

(2) 寄宿舍勤務者の職務等

1) 職務の内容

寄宿舍勤務者の職務についてみると、第22表に示すとおりで、最も多くあげているものは「建物・施設物品等の保安全管理」で、71.6%を占め、ついで「日常生活の指導・世話」(66.7%)、「健康・身上に関する相談」(64.8%)、「生活環境の整備改善」(60.7%)、「出入管理」(50.5%)、「賄・雑役」(45.3%)、「レクリエーション指導」(18.2%)、「お茶・いけ花・洋裁等の指導」(2.3%)の順となつている。寄宿舍規模別にみると「賄・雑役」を除くと規模の大きいところほど各項目にわたつて、これらの職務を行なつていると答えたものの割合が多くなつている。賄・雑役的業務については、規模の小さいところほどその割合が多くなつている(1~14人 55.4%、150人以上 22.7%)。

性別にみると、男子は女子よりも一般に、各職務を行なつている割合が高いが、とくに「建物・施設・物品等の保安全管理」および「生活環境の整備改善」「健康・身上に関する相談」等の職務は、それぞれ男子の占める割合が比較的多い。一方、「賄・雑役」および「お茶・いけ花・洋裁等の指導」は女子に多くなつている。

職名別にみると、寮長・管理人等は「建物・施設等の保安全管理」が最も多く90.1%を占め、居住労働者に対する日常生活の指導、世話、健康、身上に関する相談、出入管理、生活環境の整備改善等の職務が82.4~72.5%を占めているが、「賄・雑役」を行なつている者がかなりおり42.7%である。寮母等は居住労働者の日常生活の指導、世話が最も多く(72.5%)、健康、身上に関する相談(67.0%)につき建物等の保安全管理を行なつている者が多いが(64.8%)、茶・華道等の指導(4.4%)および「レクリエーション指導」(11.0%)を除き他の職務に分散している。賄・雑役等は「賄・雑役」の職務が最も多く、97.8%を占めているが、建物等の保安全管理(22.2%)、居住労働者の日常生活の指導、健康・身上に関する世話などを行なつているものが2割近くいることが目につく(第22表)。

第22表 寄宿舎勤務者の職務の内容(M. A.)

(単位:%)

区分	総数	建物・施設・物品等の安全管理	生活環境の整備改善	健康・身の上に関する相談	日常生活の指導・世話	お茶・いけ花・洋裁等の指導	賄・雑役	出入管理	レクリエーション指導	その他	不明
総数	100.0	71.6	60.7	64.8	66.7	2.3	45.3	50.5	18.2	8.6	0.3
寄宿舎規模											
150人以上	100.0	89.4	81.8	89.4	95.5	4.5	22.7	71.2	31.8	22.7	
50～149人	100.0	72.6	71.0	75.8	82.3	1.6	38.7	53.2	29.0	3.2	
15～49人	100.0	71.5	59.0	63.9	62.5	2.1	50.7	50.7	16.0	5.6	
1～14人	100.0	60.7	44.6	45.5	46.4	1.8	55.4	36.6	7.1	7.1	0.9
性別											
男	100.0	90.0	80.0	79.5	76.3	0.5	23.7	53.7	26.8	11.6	0.5
女	100.0	53.6	41.8	50.5	57.2	4.1	66.5	47.4	9.8	5.7	
職名											
寮長・管理人等	100.0	90.1	72.5	77.1	82.4	3.1	42.7	76.3	21.4	10.7	
寮母等	100.0	64.8	54.9	67.0	72.5	4.4	57.1	53.8	11.0	5.5	
賄・雑役等	100.0	22.2	11.1	8.9	17.8		97.8	15.6	2.2	2.2	
その他	100.0	75.2	70.9	70.9	63.2	0.9	18.8	32.5	26.5	11.1	0.9

第23表 寄宿舎居住青少年の同室者のきめ方 (M・A)

(単位:%)

寄宿舎規模	総数	同室者の割当て方法						個室のみ	自治会 に一任	不明
		小計	同年令 同学歴	出身地 が同じ	職種 が同じ	勤務時間 が同じ	新出員の 中から希望者 に選ばれる	希望を 聞く	その他	
総数	(100.0)	(85.2) 100.0	23.0	28.2	18.7	29.4	54.8	50.0	24.2	(9.2) (3.3)
150人以上	(100.0)	(94.6) 100.0	34.6	36.5	25.0	55.8	78.8	61.5	26.9	(1.8) (3.6)
50~149人	(100.0)	(92.3) 100.0	27.1	20.8	22.9	43.8	68.8	39.6	20.8	(3.9) (1.9)
15~49人	(100.0)	(78.2) 100.0	22.1	31.4	18.6	16.3	46.5	55.8	22.1	(10.0) (5.4)
1~14人	(100.0)	(76.7) 100.0	12.1	22.7	10.6	15.2	36.4	40.9	27.3	(16.3) (3.5)

第24表 寄宿舎居住青少年の部屋替えの状況

(単位:%)

寄宿舎規模	総数	行なっている					行なつて いない	不明
		小計	毎年1回	毎年2回	不定期	その他		
総数	(100.0)	(67.7) 100.0	48.3	3.9	41.9	5.9	(26.7)	(5.6)
150人以上	(100.0)	(87.3) 100.0	52.1	6.2	37.5	4.2	(10.9)	(1.8)
50~149人	(100.0)	(80.8) 100.0	52.4		42.8	4.8	(15.4)	(3.8)
15~49人	(100.0)	(67.3) 100.0	54.1	5.4	36.5	4.0	(25.4)	(7.3)
1~14人	(100.0)	(47.7) 100.0	29.3	2.4	56.1	12.2	(45.3)	(7.0)

2) 居住青少年の同室者の選定方法

調査対象となつた寄宿舍勤務者のうち、1寄宿舍単位の責任者となつている者に、同室者の選定はどのようにしているか質問したところ、第24表に示すとおりである。「個室のみ」(9.2%)と「自治会に一任」(4.3%)しているところを除き、83.2%の者が居住青少年の同室者の選定を行なつている。最も多いのは「新入社員の中に先輩社員を入れる」(54.8%)で、ついで「希望を問う」(50.0%)、「勤務時間が同じ」(29.4%)、「出身地が同じ」(28.2%)、同年令・同学歴(23.0%)、の順になつている。寄宿舍規模別にみると、「新入社員の中に先輩社員を入れる」、「勤務時間が同じ」「同年令・同学歴」をあげている者は、寄宿舍規模の大きいところほど多くなつている(第23表)。

3) 居住青少年の部屋替え

上記2)の寄宿舍勤務の責任者に居住青少年の部屋替えを行なつているかどうかをたずねたところ、67.7%が行なつており、行なつていないものは26.7%である。「毎年1回」行なつているものが最も多く48.3%を占め、ついで「不定期」が41.9%となつている。寄宿舍規模別には、規模の大きいところほど部屋替えを行なつており(150人以上 87.3%、50～149人 80.8%、15～49人 67.3%)最も規模の小さい1～14人では半数を割つている(47.7%)。また、「毎年1回」行なつているところは、15人以上の規模に多く(54.1%～52.1%)、1～14人では29.3%である(第24表)。

4) 職務をとおしてみた居住青少年

寄宿舍勤務者は仕事をとおして居住青少年をどのようにみているかを知るために「規則等の遵守状況」、「集団生活の態・責任感等」「先輩

第25表 寄宿舍勤務者の職務をとおして見た居住青少年

(単位：%)

区 分		総 数	年 令			性	
			40才 未 満	40~55 才未満	55才 以 上	男	女
規則等の遵守	総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よくない	8.6	7.4	8.7	8.9	5.8	11.4
	ふ つ う	68.0	68.4	72.3	61.6	68.4	67.5
	よ い	22.6	24.2	17.9	28.6	25.3	20.1
	不 明	0.8		1.1	0.9	0.5	1.0
責任感等の 集団生活の順等	総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よくない	14.8	11.6	16.8	13.4	12.6	17.0
	ふ つ う	68.5	69.5	67.1	70.5	68.4	68.6
	よ い	16.2	18.9	15.0	16.1	19.0	13.4
	不 明	0.5		1.1			1.0
先輩への礼儀	総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よくない	22.9	21.0	24.3	22.3	21.1	24.8
	ふ つ う	61.2	67.4	58.4	59.8	63.7	58.8
	よ い	14.8	11.6	15.6	17.0	14.7	14.9
	不 明	1.1		1.7	0.9	0.5	1.5
男女交際のマナー	総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よくない	6.5	4.2	8.7	4.5	5.8	7.2
	ふ つ う	65.4	67.4	60.7	70.5	63.7	67.0
	よ い	17.7	17.9	18.5	17.0	21.0	14.4
	不 明	10.4	10.5	12.1	8.0	9.5	11.4
身のまわりの整理整頓	総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	よくない	15.4	18.9	15.6	11.6	17.9	12.9
	ふ つ う	62.2	58.9	62.4	64.3	63.7	60.8
	よ い	21.1	21.1	20.3	23.2	17.9	24.2
	不 明	1.3	1.1	1.7	0.9	0.5	2.1

への礼儀」、「男女交際のマナー」および「身のまわりの整理整頓」の5項目についてたずねたところ第25表に示すとおりである。全般的に「ふつう」とみる者が最も多く(61.2~68.5%)、ついで「よい」(14.8~22.6%)、「よくない」(6.5~15.4%)の順となつてゐる。

寄宿舎勤務者の年齢別、性別に青少年に対する見方をみると、とくにいちじるしい傾向はないが、「身のまわりの整理・整頓」を別として各項目にわたり、「ふつう」と「よい」とをプラスしたものの割合は年齢別では40才未満、性別では男子に多い傾向がみられる(第25表)。

(3) 寄宿舎勤務者の意識

1) 職務研修の希望

寄宿舎勤務者の職務上の研修に関しては、66.9%の者が「希望する」と答えているが、「希望しない」者も32.0%いる。寄宿舎規模別には、規模の大きいところほど希望する者が多く、150人以上ではほとんど全員(92.4%)が希望しているが、15人未満のところでは約半数(49.1%)となつてゐる。学歴別には学歴の高い者ほど希望する者が多く、短大卒以上89.1%、高校卒70.1%、中学卒55.2%である。職名別には寮母等が最も多く(74.7%)、寮長・管理人等(71.8%)がこれにつぎ、賄・雑役等(40.0%)は希望者より希望しないもののほう(60.0%)が多い。性別には、男子に研修希望者が多く73.2%(女子60.8%)である(第26表)。

つきに希望する研修課目についてみると「青少年の心理」が最も多く(60.7%)、ついで「寄宿舎の管理運営」(53.3%)、「カウンセリング」(38.9%)、「安全衛生」(34.2%)、「グループ・ワーク」(22.6%)、「レクリエーション」(20.6%)、「料理・洋裁・お茶・お花等」(19.5%)の順となつてゐる。寄宿舎規模別にみて、

第26表 寄宿舍勤務者の研修希望状況

(単位：%)

区 分		総 数	希望する	希望しない	不 明
総 数		100.0	66.9	32.0	1.1
寄 宿 舎 規 模	150人以上	100.0	92.4	7.6	
	50～149人	100.0	77.4	21.0	1.6
	15～49人	100.0	64.6	34.0	1.4
	1～14人	100.0	49.1	50.0	0.9
学 歴	中 学 卒	100.0	55.2	44.8	
	高 校 卒	100.0	70.1	27.4	2.5
	短大卒以上	100.0	89.1	10.9	
職 名	寮長・管理人等	100.0	71.8	27.5	0.7
	寮 母 等	100.0	74.7	23.1	2.2
	助・雑役等	100.0	40.0	60.0	
	そ の 他	100.0	65.8	33.3	0.9
性	男	100.0	73.2	26.8	
	女	100.0	60.8	37.1	2.1

規模の大きいところほど希望する者の割合が高くなっている課目は「青少年の心理」、「寄宿舍の管理運営」、「カウンセリング」、「グループ・ワーク」であるが、とくに「カウンセリング」は150人以上57.4%に対し、1～14人14.5%、また「グループ・ワーク」は150人以上34.4%、1～14人9.1%と開きが目立つ。規模の小さいところほど希望する割合の高い課目は「料理・洋裁・お茶・お花等」である。

「安全衛生」は各規模を通じ比較的に希望が多い。つぎに学歴別に各課目の希望状況をみると、「青少年の心理」は高校卒に最も希望者が多く(69.1%)、中学卒は相対的に少ない(50.0%)。「寄宿舍の管理・運営」および「料理・洋裁・お茶・お花等」は学歴の低い層ほど多く、「カウンセリング」「グループ・ワーク」は学歴の高い層ほど多くなっている。「レクリエーション」は学歴による差があまりみられない。職名別にみると、寮長・管理人等は「寄宿舍の管理・運営」(72.3%)

第27表 寄宿舎勤務者の研修希望課目 (M. A.)

(単位:%)

区 分	総 数	寄宿舎の 管理運営	安全衛生	料理・洋服 お花・お茶等	青少年の 心 理	カウンセ リング	グループ ワーク	レクリエー ション	そ の 他
総 数	(669) 100.0	53.3	34.2	19.5	60.7	38.9	22.6	20.6	3.1
寄宿舎 規模									
150人以上	(924) 100.0	60.7	31.1	11.5	70.5	57.4	34.4	19.7	1.6
50~149人	(774) 100.0	54.2	47.9	20.8	62.5	45.8	33.3	25.0	
15~49人	(646) 100.0	57.0	31.2	22.6	58.1	37.6	17.2	23.7	6.5
1~14人	(491) 100.0	38.2	30.9	21.8	52.7	14.5	9.1	12.7	1.8
学 歴									
中 学 卒	(552) 100.0	54.4	34.4	27.8	50.0	31.1	15.6	22.2	5.6
高 校 卒	(701) 100.0	53.6	30.9	20.0	69.1	40.0	26.4	19.1	0.9
短大卒以上	(891) 100.0	50.9	40.4	5.3	61.4	49.1	26.3	21.1	3.5
職 名									
寮長・管理人等	(718) 100.0	72.3	43.6	14.9	61.7	46.8	28.7	26.6	1.1
寮 母 等	(747) 100.0	44.1	32.4	38.2	67.6	33.8	23.5	17.6	5.9
廊・雑役等	(400) 100.0	16.7	16.7	38.9	44.4		5.6	5.6	5.6
そ の 他	(658) 100.0	46.8	28.6	3.9	57.1	42.9	18.2	19.5	2.6
性 別									
男	(732) 100.0	61.9	36.7	4.3	62.6	46.0	23.7	25.2	2.2
女	(608) 100.0	43.2	31.4	37.3	58.5	30.5	21.2	15.3	4.2

と「青少年の心理」(61.7%)、「カウンセリング」(46.8%)を希望するものが多く、寮母等は「青少年の心理」(67.6%)が最も多く、「寄宿舎の管理・運営」(44.1%)と、「料理・洋裁・お茶・お花等」(38.2%)が比較的多い。 賄・雑役等も「青少年の心理」(44.4%)を希望する割合が高く、各職名を通じ「青少年の心理」の研修を望む者が多い。

なお、性別にみると男女とも「青少年の心理」が最も多く、つぎが「寄宿舎の管理運営」であるが、第3位は男子が「カウンセリング」であるのに対し、女子は「料理・洋裁・お茶・お花」となっている(第27表)。

(3) 寄宿舎勤務者の意識

2) 生きがい

「あなたは今の仕事に生きがいを感じていますか」との間に57.8%が「感じている」と答えているが、「何ともいえない」がかなりおり36.7%、「感じていない」が5.5%である。寄宿舎規模別にみると生きがいを「感じている」者は規模の大きいところほど多く、150人以上では65.1%を占めているが、1～14人では51.8%となつている。「何ともいえない」は1～14人が最も多く46.4%(150人以上27.3%)である。学歴別には生きがいを「感じている」は高校卒が最も多く61.1%、ついで中学卒56.4%で短大卒以上は相対的に少なく、53.1%となつている。「何ともいえない」は短大卒以上が42.2%で最も多く、ついで中学卒39.3%となつている。職名別にみると、最も生きがいを「感じている」ものは寮長・管理人等(65.6%)で、寮母等がこれについでいる。また「何ともいえない」の最も少ないものは寮長・管理人等で、寮母等がこれにつぎ、賄・雑役等は約半分が「何ともいえない」と回答している。

第28表 寄宿舎勤務者の仕事に生きがいの有無別構成

(単位:%)

区 分		総 数	感じている	感じていない	何ともいえない
総 数		100.0	57.8	5.5	36.7
寄宿舎規模	150人以上	100.0	65.1	7.6	27.3
	50～149人	100.0	59.7	3.2	37.1
	15～ 49人	100.0	58.3	8.3	33.4
	1～ 14人	100.0	51.8	1.8	46.4
学 歴	中 学 卒	100.0	56.4	4.3	39.3
	高 校 卒	100.0	61.1	7.0	31.9
	短大卒以上	100.0	53.1	4.7	42.2
職 名	寮長・管理人等	100.0	65.6	9.2	25.2
	寮 母 等	100.0	58.2	5.5	36.3
	賄・雑役等	100.0	51.1	2.2	46.7
	そ の 他	100.0	51.3	2.6	46.1
性	男	100.0	61.1	4.7	34.2
	女	100.0	54.6	6.2	39.2

性別には、男子に生きがいを「感じている」ものが多い(男子61.1%、女子54.6%)(第28表)。

生きがいを「感じている」者に対して、その理由を聞いたところ「この仕事が好きだ」(64.0%)、「青少年のために役立っている」(53.6%)がいずれも過半数を占め、「仕事を事業所が評価してくれる」(34.7%)、「職場環境がよい」(32.4%)の順となつている。寄宿舎規模別にみると、「この仕事が好きだ」は各規模を通じて60.7~67.4%を占め、「青少年のために役立っている」は、規模の大きいところほどその割合が高い(150人以上65.1%、50~149人62.2%、15~49人50.0%、1~14人44.8%)。学歴別には「この仕事が好きだ」は学歴の低い層に多く、(中学卒72.8%、高校卒61.5%、短大卒以上47.1%)、「青少年のために役立っている」は学歴の高い層に多い(短大卒以上61.8%、高校卒59.4%、中学卒44.6%)。ま

第29表 寄宿舍勤務者の“仕事に生きがいあり”の理由 (M. A.)

(単位: %)

区 分		総 数	仕事を事業所が評価してくれる	職場環境がよい	青少年のために役立っている	この仕事が好きだ	その他
総 数		(57.8) 100.0	34.7	32.4	53.6	64.0	6.3
寄 宿 舎 規 模	150人以上	(65.1) 100.0	44.2	30.2	65.1	67.4	11.6
	50~149人	(59.7) 100.0	29.7	32.4	62.2	62.2	8.1
	15~49人	(58.3) 100.0	38.1	35.7	50.0	60.7	4.8
	1~14人	(51.8) 100.0	25.9	29.3	44.8	67.2	3.4
学 歴	中 学 卒	(56.4) 100.0	30.4	33.7	44.6	72.8	6.5
	高 校 卒	(61.1) 100.0	35.4	32.3	59.4	61.5	5.2
	短大卒以上	(53.1) 100.0	44.1	29.1	61.8	47.1	8.8
職 名	寮長・管理人等	(65.6) 100.0	47.7	52.3	60.5	62.8	9.3
	寮 母 等	(58.2) 100.0	20.8	24.5	49.1	79.2	5.7
	賄・雑役等	(51.1) 100.0	17.4	13.0	34.8	91.3	4.3
	そ の 他	(51.3) 100.0	35.0	18.3	55.0	41.7	3.3
性	男	(61.1) 100.0	42.2	37.9	63.8	50.9	7.8
	女	(54.6) 100.0	26.4	26.4	42.5	78.3	4.7

た、「仕事を事業所が評価してくれる」は学歴の高い層に多く、「職場環境がよい」は学歴の低い層に多い。職名別にみると、寮長・管理人等、寮母等、賄・雑役等は「この仕事が好きだ」が1位を占め、2位は「青少年のために役立っている」となっている。性別には女子は「この仕事が好きだ」が最も多いが、男子は「青少年のために役立っている」が最も多い(第30表)。

また、生きがいを「感じない」者(調査対象者数の5%)については、その理由として「仕事を事業所が評価してくれない」(52.4%)、「仕

事がつらいのに報酬が低い」(42.9%)をあげている者が多い(第31表)

第30表 寄宿舍勤務者の
「仕事に生きがいを感じない」理由(M.A.)
(単位:%)

理 由	構 成 比
総 数	(55) 100.0
仕事を事業所が 評価してくれない	52.4
青少年に気持が 通じない	33.3
仕事がつらいのに 報酬が低い	42.9
この仕事が嫌い だ	19.0
そ の 他	23.8

3) 待遇に関する意識

「現在の労働を給与等の条件とくらべてどう感じますか」という問に対しては、「仕事におおよそ給与は見合っている」が最も多く(29.9%)、ついで「何ともいえない」(25.0%)、「精神的疲労が激しい割合に給与が少ない」(23.4%)、「現在の仕事量からみて仕方ない」(13.3%)、「仕事が重労働であるのに給与が低い」(6.8%)、「仕事が楽な割合に給与がよい」(3.9%)となつている。

年令別、性別にみても上記の意識は大きな格差はみられない。しかし、細かくみれば、「精神的疲労が激しい割合に給与が少ない」は40才未満より55才以上にいくぶん多いのであるが、一方、「仕事が楽な割合に給与がよい」も40才未満よりも55才以上が多くなつていることが目につく。同じような傾向は性別においてもみられ、「仕事が重労働であるのに給与が低い」は女子にいくぶん多いが、一方、「仕事が楽な割合に給与がよい」も女子にその割合が多くなつている。

職名別では「仕事はおおよそ給与に見合っている」は賄・雑役等(33.3%)、寮母等(31.9%)がこれにつき、寮長・管理人等(27.9%)が比較的の少なくなつている。これと反対に「精神的疲労が激しい割合に給与が少ない」は寮長・管理人等に多く(30.5%)、つきが寮母等(29.7%)で、賄・雑役等(13.3%)は最も少い(第31表)。

第31表 寄宿舎勤務者の待遇に関する意識

(単位：%)

区 分	総 数	仕事で重労働であるのに給与が低い	精神的疲労が激しい割合に給与が少くない	現在の仕事量からみて仕方がない	仕事におおよそ給与は見合っている	仕事に楽な割合に給与がよい	何ともいいない	そ の 他	不 明
総 数	100.0	6.8	23.4	13.3	29.9	3.9	25.0	4.9	0.8
年 令									
～40才未満	100.0	6.3	17.9	16.8	30.5	3.2	24.2	6.3	1.1
40～55才未満	100.0	6.4	25.4	10.4	30.6	1.7	28.9	4.0	
55才以上	100.0	8.0	25.0	15.2	28.5	8.0	19.6	3.6	1.8
性 別									
男	100.0	5.8	23.7	12.1	31.6	2.6	25.3	5.3	
女	100.0	7.7	23.2	14.4	28.4	5.2	24.7	4.6	1.5
職 名									
寮長・管理人等	100.0	5.5	30.5	16.0	27.5	3.8	21.4	3.8	0.8
寮 母 等	100.0	8.8	29.7	13.2	31.9	2.2	19.8	4.4	1.1
賄・雑役等	100.0	11.1	13.3	20.0	33.3	6.7	24.4	4.4	
そ の 他	100.0	5.1	14.5	7.7	29.9	4.3	33.3	6.8	0.9

寄宿舎に生活する勤労青少年に関する調査

寄宿舎勤務者票



(47年11月)

労働省婦人少年局

申請人少年 証 名	申請人少年証 番号	企業規模	事業所規模	寄宿舎規模	市町村	調査月日	月 日
業種分類	1 食 料 品	5 金 属 製 品	1 1000人以上	1 500人以上	1 150人以上	自治会 2 無 3 市町村 4 市町村 TEL	調査員 氏 名
	2 織 造 工 業	6 一般機械器具	2 500～999人	2 100～499人	2 50～149人		
	3 衣服その他の繊維製品		5 100～299人	3 30～99人	3 15～49人		
	4 化 学 工 業	7 電気機械器具	4 50～99人		4 1～14人		

- お願い ○ この調査は、統計以外の目的に使われることはありませんのでありのままをお答えください
○ 空欄に答を記入するかあてはまる答の数字と○で囲んでください ※のところは記入しないでください
○ 記入が終わったら裏き蓋しがないかを確かめて、返信用封筒に密封して返送してください

問1 あなたの性、年令、学歴などは？

性	年 令	最後に卒業した学校	所 属 課
1 男	高 才	1 旧小・高小 新中卒	部 課
2 女		2 旧中・高女 新高卒	
		3 高専 短大卒以上	

問2 あなたの職名、身分、勤務年数は？

職 名	身 分 等	勤 務 年 数
1 社 員		今の仕事
2 職 員		年 月
3 臨時従業員		今の会社は通算すると
4 パートタイマー		年 月
5 その他()		

問3 あなたは今の仕事について何をしていますか？

1 外部から採用された	2 他部署から配置された	3 定年退職後の切替
○ 前職は何ですか()内に地位を記入してください		
1 公 務 員()	3 教 師()	
2 会 社 員()	4 その他()	
	5 その他()	

問4 あなたは寄宿舎に住んでいますか？ 通勤ですか？

1 住 込 み	2 通 勤	
○ 居住の状況などおたずねします		
居室の状況	同居の家族	費 用
宿 舎	人	居室使用料 1 払う 2 払わない
		光熱水道料 1 払う 2 払わない
		給食(本人のみ) 1 払う 2 払わない
(本人除外)		

問5 あなたの配偶者も同じ寄宿舎で働いていますか？

1 い る	2 い ない
-------	--------

問6 あなたは交際勤務をしていますか？

1 い る	2 い ない
○ 拘束時間？	○ 拘束時間？
1 時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
2 時 分～ 時 分	

問7 賃金についておたずねします (1ヵ月、1.8日以上勤務者)

1 0 月 の 授 込 み 賃 金

問8 あなたの職務は次のどれですか？該当のすべてに○印をしてください

1 建物、施設、物品等の安全管理	6 贈、贈収
2 生活環境の整備改善	7 出入管理
3 健康、食上に関する相談	8 レクリエーション指導
4 日常生活の指導、世帯	9 その他
5 お茶、いけ花、作飯等の指導	()

問9 寄宿舎の同室者の選定はどういう方法でまめていますか？

(該当のすべてに○印をつけてください)	
(この質問は、寄宿舎勤務の責任者のみ記入してください)	
1 同年令、同学年	5 新入社員の中に先輩社員を入れる
2 出身地が同じ	6 希望を聞く
3 職場で職能が同じ	7 その他
4 勤務の時間が同じ	()

問10 部屋替えを行なっていますか？(この質問は、寄宿舎勤務の責任者のみ記入してください)

1 い る	2 い ない
↓	
1 毎年1回	4 不 定 期
2 毎年2回	5 そ の 他
3 2年に1回	()

問11 あなたは寄宿舎に生活する青少年をどのように見ていますか
(該当の欄に○印をしてください)

事 項	よくない	ふ つ う	よ い
規則等の遵守状況			
集団生活の姿、責任感等			
先輩への礼儀			
男女交際のマナー			
身のまわりの整理整頓			
その他()			

問12 あなたは職務上の研修機会を希望しますか

1. 希 望 2. し な い

○希望する研修科目(該当のすべてに○印をしてください)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 寄宿舎の管理運営 | 5 カウンセリング |
| 2 安全衛生 | 6 グループ・ワーク |
| 3 料理、作庭、お茶、お花など | 7 レポート作成 |
| 4 青少年の心理 | 8 その他() |

問13 あなたは今の仕事に生きがいを感じていますか

1. い い 2. い な い 3. 何ともいえない

○理由は？(該当のすべてに○印) ○理由は？

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 仕事を会社が評価してくれる | 1 仕事を会社が評価してくれない |
| 2 職場環境がよい | 2 青少年に気持が通じない |
| 3 青少年のために役立っている | 3 仕事がつらいのに報酬が低い |
| 4 この仕事が好きだ | 4 この仕事が嫌いだ |
| 5 その他() | 5 その他() |

問14 現在の労働を給与等の労働条件に比べてどう感じますか

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 仕事为重労働であるのに給与が低い | 4 仕事におおよそ給与は見合っている |
| 2 精神的疲労が強い割合に給与が少ない | 5 仕事に楽な割合に給与がよい |
| 3 現在の仕事量からみて仕方がない | 6 何ともいえない |
| | 7 その他() |

GAa1/1

8B-2-67



女性と仕事の未来館



00965200